



モンゴルがくれた学び

鹿児島大学教育学部附属中学校 2年 前田 葵

「モンゴルは親日国である」という事実を知った時、私は少し驚いた。両国の繋がりについて、ほとんど知らなかったからだ。

実際にモンゴルでの研修を進めていくと、モンゴルの人たちが日本を好きでいてくれることがとてもよく分かった。どこにでも日本語を話せる人がいて、日本に行きたいと思っている人も少なくない。私は日本人として、モンゴルの人々の自分の国に対する好意をとても嬉しく感じた。また、モンゴルから学びたいと思ったことも多くあった。

この1週間で印象的だったことの 하나가、モンゴルの高専生たちとの交流だ。彼らは、「日本の高専に留学し、エンジニアとなって故郷に貢献したい」という夢を叶えるため、日本語を一生懸命勉強していた。

また、ホームステイ先の男の子は、「僕は日本で働くために、妹は医者になるために、一生懸命勉強しているんだ!」と笑顔で話してくれた。

今、日本人は勉強に対する熱意や、夢に向かって真剣に努力することを忘れかけているように思う。私たちは、モンゴルの人々のこのような姿勢を見習うべきではないだろうか。

国同士が、お互いに学び合い、尊重し合う。そんな世界をつくるため、今回の経験を人生の糧とし、多くの人に伝えたい。